

サークルから 会員募集

すみれ 墨礼会(毛筆・ペン習字)
月2回木曜日/10時~12時/保谷駅前公民館/入会金1,500円・月額1,500円

住吉英会話サークル
月4回水曜日/14時~16時/住吉会館(ルピナス)/入会金3,000円・月額3,000円

フォト光彩ほうや(写真)
月2回/18時~21時/柳沢公民館/入会金3,000円・月額1,000円

ヨーガ同好会
月2回月曜日/13時15分~14時45分/保谷駅前公民館/入会金1,000円・月額2,500円

二一ハオ中国語教室
月4回火曜日/入門16時~/初級13時~/中級14時半~/芝久保公民館/入会金1,000円・月額3,000円

カラオケおしん
第1・4金曜日、第2火曜日/9時~12時/新町福祉会館/月額500円/60歳以上対象

桂書道会(毛筆・ペン習字)
月2回火曜日/10時~12時/ひばりが丘図書館講座室/入会金2,000円・月額2,000円

市民企画事業/事業案内

コロナ禍で明らかになったこと
— のぞましいこれからの社会 —
平和、民主、革新の日本をめざす西東京の会

はじめて直面するコロナ危機。問題の本質を学び、今後の社会のあり方を考えます。
時 10月4日(日)14時~16時
場 柳沢公民館
定 33人(申込順)
講 木下ちがや(政治学者)
¥ 200円(資料代・広報費ほか)
申 9月2日(水)9時からFAXが電話で下記へ

サークルから 催し物案内

韓国・朝鮮人元BC級戦犯者写真パネル展示・講演会
「同進会」を応援する西東京市民の会
【パネル展示】9月1日(火)~6日(日)/9時~17時(初日13時から)/保谷駅前公民館
【講演会】9月6日(日)/13時半~16時/保谷駅前公民館/講師:林るみ(朝日新聞記者)・大山美佐子(出版社勤務)/定員25人(申込順)/要申込・9月2日(水)から電話で下記へ

※金額の記載がないものは無料です。

11月1日号の原稿締め切りは、9月18日(金)です。

保谷駅前 あつまれ!みんなのけいおん講座

ギター、キーボード、ドラムなど、好きな楽器を弾いてみよう。何を演奏するかは自分次第。最後はみんなでコンサートをします。

時 10月18日~令和3年3月21日 毎月第3日曜日 14時~16時 全6回
場 保谷駅前公民館
対 中学生以上20歳未満の市内在住・在勤・在学者
定 ギター6人、キーボード3人、ドラム4人(申込順)
内 けいおんの知識と演奏技術を基本から学びます。楽器の演奏が初めてでも大丈夫です ※初回にオリエンテーションがあります
講 太田光宏(音楽制作集団HEART NOTE PROJECT代表)、渡邊篤子(生涯学習音楽指導員)、山本雄一(ドラム講師)
持 自宅にあるギターなど。公民館に貸出用のエレキギターがあります
申 9月7日(月)9時から電話かメールで保谷駅前公民館へ



メールでの講座申込方法

アドレス:1面参照
件名:講座名
本文:氏名・電話番号・住所・年代
※後日確認メールを送ります。届かない場合はお手数ですが、電話でお問い合わせください。

公民館運営審議会

傍聴をご希望の方は、事前に申し込んでください。
時 9月23日(水)18時半~
場 柳沢公民館
内 事業計画・報告について
申 電話で柳沢公民館へ

季節の花 ヒガンバナ

突如茎を出し、その先に赤色の花を輪生状に咲かせ、しかも1週間余りではほむ不思議な花です。秋の彼岸の頃に開花するのでその名がありますが、花の形・色から連想して神輿花、火事花、突然姿を現すため狐花、球根が有毒なため死人花など、別名が極めて多い花です。球根を飢饉の際の食料とするため、奈良時代以前に中国から持ち込まれたとの説が有力で、古来人々の生活に密着してきたことから多くの別名を生んだのでしょう。ひるがえって現在、多くの人はお墓周辺に咲く花で、別名は曼殊沙華(まんじゆしゃげ)といふことくらいしか知らないでしょう。自然とのかかわりの薄さを感じます。総持寺(田無町三丁目)の白い色のシロバナマンジュシャゲの群生は9月中旬頃が見ごろです。



文・写真 大森拓郎(新町在住)

市民企画事業/説明会

公民館市民企画事業は、市内の自主グループが企画・運営する事業を、審査の上、自主グループと公民館の共催事業として実施するものです。この制度を利用できるのは、その年度の説明会に参加した自主グループです。

第3回説明会
参加する場合は申し込んでください。

【昼間の部】
時 9月10日(木)10時~11時
場 保谷駅前公民館

【夜間の部】
時 9月11日(金)19時~20時
場 柳沢公民館

【夜間の部】
時 9月11日(金)19時~20時
場 柳沢公民館

【申請期間】
9月29日(火)~10月6日(火)
※ただし、平日の9時~17時に限ります。

【調整会】
時 10月13日(火)19時~
場 柳沢公民館

【実施期間】
令和3年1月5日(火)~3月12日(金)

おたのしみ川柳 今月のお題「潔」

- ・アサガオは潔らかなりし夏の朝 太田照子
- ・断捨離であれもこれもと潔い 小林和子
- ・コロナ禍で潔癖症が高評価 さいま

編集室では、みなさまの投稿をお待ちしています。氏名・住所・電話番号を記入の上、お近くの公民館に郵送、メール、持参でお寄せください。

11月号のお題「夜」です

締切 9月25日(金)

君と生きる

障がい者が 地域で豊かに暮らすこと

(西東京市障がい者福祉をすすめる会会長)

地域で楽しく暮らしていくという当たり前のことが、障がいをもった人にとってはなかなか簡単なことではありません。例えば、障がいをもつ人は外出するだけでも同行援護者が必要な場合が多く、その同行援護者を見つけるまでに多くの時間を要します。同行援護サービスを利用するためには、まず市役所へ行って必要な申請書類を提出し、書類審査を経て、後日その審査結果の通知が郵送されてきます。審査が通った場合は、自分で同行援護サービスを提供している事業所を探すこととなります。市役所が探して、段取りをとってくれるわけではありませんが、条件がなかなか合わず10以上の事業所へ電話連絡をしても結局受けてくれる事業所が見つからなかったケースもあります。その場合は結局外出をきらめるか、家族が行うかとなりますが、家族の負担は増します。

普通の人々が当たり前にしている外出するということが一つとってみても、障がい者にとっては簡単に行えることではありません。昔に比べて利用できる障がい者福祉サービスは増えたとはいえます。しかし、それは多くなることを願います。

度々サービスであり、地域で豊かに暮らすために必要なサービスの提供はまだ十分ではありません。

友人と食事をする。近くの商店街で買い物をする。公民館で開催される講演会を聞きに行く。これもびホールで開催しているコンサートを観に行く。喫茶コーナー(ふれあい(柳沢公民館内))でチキンカレーを食べる。などなど健常者にとって当たり前のことが障がいをもつ人たちにとても当たり前にできる地域社会であってほしいと切に願います。そして、地域で多くの人に出会い、話を聞いて、話を聞いて、ああ今日も楽しい一日だったなあと思える日が少しでも多くなることを願います。